

平成28年度九州職業能力開発大学校入校式 が4月5日、北九州国際会議場で挙行されました。 学生たちには、日本のものづくりを支えるべく 高度かつ柔軟な発想ができる実践的技術者を 目指し成長することが期待されています。

当大学校の平成28年度入校式が、多くの来賓の方々のご列席のもと、おごそかに執り行なわれました。

専門課程120名、応用課程96名、計216名が入校しました。岡田学校長からは、世界が多くの課題を抱える中、日本のものづくりを支えることの意義と重要性、そして社会に貢献する人材になることへの期待が述べられました。



大学校内の桜



岡田学校長告辞



福岡県福祉労働部労働局 樋口局長祝辞



入校式にご列席いただいた来賓の皆様

世界の課題

- 国内
 - 東日本大震災からの復興。
 - 少子高齢化による人口の減少。
 - 大都市への人口集中と地方の停滞。
- 国際
 - 食料・エネルギーなどをめぐる軋轢。
 - 地球温暖化、環境問題。
 - 内戦、テロ、難民など不安定化。
 - ボーダーレス化とグローバル化。



入校生宣誓(応用課程)



入校生宣誓(専門課程)



入校式会場の様子



入校認定

社会への貢献

- 大震災からの復興、より良い社会の構築にもの作り技術を通じて貢献すると言う高い志を持って学習に取り組んでください。
- 新興国の追い上げ、インターネットや情報通信技術の進歩によりもの作りはもとより、社会の有りようが変わりつつある。もの作りにも柔軟な発想が求められており、若い皆さんの活躍が大いに期待されています。